

令和3年大井町議会第4回定例会

一般質問書

令和3年12月

通告順	質 問 事 項	質問者	(分)時間	頁
1	・情報とコミュニケーションのバリアフリー化への取組みについて	清水重樹	5 0	1
2	・新公共交通システムについて ・交通安全対策について	黒岩陣太郎	5 0	2
3	・酒匂川水系流域治水プロジェクトについて ・新型コロナウイルス予防接種について	山崎真弘	5 0	3
4	・令和4年度予算編成について ・地球温暖化防止に向けた町の取組みの推進について	岡田幸二	5 0	4
5	・生涯スポーツの推進について ・総合体育館の管理・運営における課題について	和田紀昭	5 0	5
6	・長（執行機関）と行政委員会の関係について ・9月議会一般質問に係る再質問について	田村俊二	5 0	6
7	・来年度以降の不妊治療支援事業について ・産前産後サポート、産後ケアについて	大石 舞	5 0	7
8	・児童コミュニティクラブ（学童保育）の更なる充実に向けて ・中学校の制服について	重田有紀	5 0	8
9	・配慮を必要とする子どもたちの支援について	伊藤奈穂子	5 0	9

質問者	通告1番 12番 清水 亜樹 議員	通告時間 50分
		答弁者 町長
質問事項	情報とコミュニケーションのバリアフリー化への取組みについて	
要旨	<p>障がいのある方が、日常生活や社会生活において、情報やコミュニケーションのバリアを感じることなく、地域で安心して暮らせる社会が求められている。</p> <p>障害者基本法には、全て障がい者は、可能な限り、手話を含む言語その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保されるとともに、情報取得又は利用のための手段についての選択の機会の拡大が図られることが定められている。</p> <p>そこで本町において、情報やコミュニケーションのバリアフリー化への取組みの状況や課題等について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「障がい者のための制度案内」を町独自の分かり易い手引きに作成すべきと考えるが見解は。</li> <li>2 救急搬送時における手話通訳者派遣制度の構築への進捗状況は。</li> <li>3 ろう者のコミュニケーションを担う、町登録の手話通訳者への報償等、処遇改善の考えは。</li> <li>4 聴覚障がい者に対して、各課窓口の対応状況は。</li> <li>5 視覚障がい者への案内や通知などの作成、送付時の対応の状況は。</li> <li>6 町広報誌等における視覚障がい者に対する取組状況は。</li> </ol>	

質問者	通告 2 番	通告時間 50 分
	2 番 黒岩 陣太郎 議員	答弁者 町 長
質問事項	1 新公共交通システムについて 2 交通安全対策について	
要 旨	<p>1 町では、地域公共交通のあり方を検討するため地域公共交通会議を設置し協議を進めており、今年5月からは、従来の巡回福祉バスに替え、新公共交通システム「おおいゆめバス」の実証実験を開始した。来年度から本格運行を開始するとしているが、その進捗状況等について伺う。</p> <p>(1) 本格運行に向けた進捗状況と今後のスケジュールは。  (2) 本格運行の際は運賃を有料化することだが、業務の実施主体は。また、運賃の設定はどのように決めるのか。  (3) 本格運行の際の運行形態は、現状と同様に巡回方式か。デマンド交通の導入の考えは。</p> <p>2 近年、町内において交通事故が多発しており、その対策が急務となっている。また、全国的に通学路における安全確保も課題となっている。そこで、本町における交通事故防止のための対策等について伺う。</p> <p>(1) 県道72号松田国府津線の安全対策について  ① 本路線における過去3年間の交通事故件数と事故の内容は。  ② 交通安全対策の現状と今後の取組みは。  ③ 県、警察との連携は。  (2) 通学路の安全確保について  ① 歩道のない道路への対策は。  ② 注意喚起を促すような資機材を導入する考えは。</p>	

質問者	通告 3 番 5 番 山崎 真弘 議員	通告時間 50 分 答弁者 町 長
質問事項	1 酒匂川水系流域治水プロジェクトについて 2 新型コロナウイルス予防接種について	
要 旨	<p>1 令和元年の東日本台風、また本年7月の豪雨により甚大な被害が発生したことを踏まえ、多様な対策を組み合わせる「流域治水プロジェクト」が県内2級河川でも動き出した。そこで、酒匂川水系に対する対策について本町の考えを伺う。</p> <p>(1) 流域被害を防ぐ・減らすための対策は。          (2) ハザードマップの改定、周知は。          (3) 川音川の流域被害による対策は。</p> <p>2 緊急事態宣言も解除されてから、新型コロナ感染者数については、今現在、収まってきているが、年内にも「第6波」の感染再拡大が起こるのではないかと指摘があり、感染予防効果の減少による3回目のワクチン接種の準備が進んでいる。また、2回目までの接種においては過誤、供給による問題点もあった。そこで、本町における3回目接種の現状について伺う。</p> <p>(1) 3回目のワクチン接種についての状況は。          (2) 今後の接種スケジュール、接種場所等について。          (3) 過誤等のリスク管理について。</p>	

質問者	通告4番 6番 岡田 幸二 議員	通告時間 50分
		答弁者 町 長
質問事項	1 令和4年度予算編成について 2 地球温暖化防止に向けた町の取組みの推進について	
要 旨	<p>1 令和4年度は、小田町長1期4年目の区切りの年となる。町長が目指す、町民全員参加による協働のまちづくり、生きがい、健康があふれる高齢者に優しいまちづくり、防災や減災、また地域資源の発掘へ向けて、予算編成の基本的な考えを伺う。</p> <p>(1) 来年度予算編成上、重点実施項目と認識しているのは何か。  (2) 中長期的な課題は何か、また、解決に向けての予算配分の考え方は。  (3) 複数年度にわたる道路整備事業の予算措置の考え方は。  (4) 公共施設の修繕に対する考え方は。</p> <p>2 10月末からCOP26・国連気候変動枠組条約締約国会議が開催され、パリ協定(COP21)の実現に向けて各国首脳による決意表明がされた。現在そのまま推移すると2033年には1.5℃に達する予測となり、今できることを町民挙げて実行することが求められる。そこで、以下について伺う。</p> <p>(1) マイエコ10宣言の推進について。  (2) 新規公共施設への太陽光パネル設置について。  (3) 広報等を利用した温暖化防止活動の推進について。</p>	

質問者	通告5番 4番 和田 紀昭 議員	通告時間 50分
		答弁者 町長・教育長
質問事項	1 生涯スポーツの推進について 2 総合体育館の管理・運営における課題について	
要 旨	<p>1 平成23年に「スポーツ基本法」が成立し、本町においてもスポーツ振興を通じて町民の健康増進、地域交流の場の提供等、生涯スポーツの推進に取り組んでいる。そこで、第4次生涯学習推進計画において掲げている施策の具体的な内容について伺う。</p> <p>(1) 計画では、「生涯スポーツ、レクリエーション活動の充実」を掲げ、幾つかの取組み・事業があるがどのように推進しているのか。</p> <p>(2) 計画において新たに取り組んでいる施策は。</p> <p>2 総合体育館は、平成5年に開館して以来、多くの町民に利用され生涯スポーツの拠点として活用されているが、施設の老朽化などいくつかの課題を抱えていると考える。そこで以下について伺う。</p> <p>(1) 施設を適正に維持管理するための改修計画は。</p> <p>(2) 利用者の利便性の向上を図るため、オンライン予約システムを導入すべきと考えるが見解は。</p> <p>(3) 施設の更なる利用活性化を図るため、指定管理者制度を導入すべきと考えるが見解は。</p>	

質問者	通告 6 番 1 0 番 田村 俊二 議員	通告時間 5 0 分
		答弁者 町 長
質問事項	1 長（執行機関）と行政委員会の関係について 2 9月議会一般質問に係る再質問について	
要 旨	<p>1 先だって「コピー提供の参事免職」との新聞報道があった。町民のために日夜尽力されている職員の皆さんを含め地方自治に関わるものには大変衝撃的な報道だった。執行機関等は町民の信託・信頼を前提に業務を行っている。その信託・信頼を損ねるこの報道を他山の石とし、町民の信託・信頼の向上に資するために本町での実態について確認したいので、次について伺う。</p> <p>(1) 選挙管理委員会、監査委員、農業委員会の関係は。  (2) 事務局体制、予算・会計事務等、職員配置は。  (3) 選挙人名簿抄本の閲覧方法と状況は。また、管理の方法は。  (4) 法令順守の取組みは。</p> <p>2 9月議会において「1. 自治会の現状と今後のあり方は、2. 障がい児者雇用を充実展開する考えは」の2項目について質問を行い、それぞれ答弁があった。さらに議論を深める必要があると考えるので、次について再度伺う。</p> <p>(1) 自治会未加入者、高齢化等による脱会者に対する行政サービスのあり方は。  (2) 障がい児者の雇用拡大に向けた町独自施策の考えは。</p>	

質問者	通告7番 1番 大石 舞 議員	通告時間 50分
		答弁者 町 長
質問事項	<p>1 来年度以降の不妊治療支援事業について</p> <p>2 産前産後サポート、産後ケアについて</p>	
要 旨	<p>1 国は来年度から、保険適用外の不妊治療について保険適用とする方針を示している。助成制度は廃止の見通しだが、引き続き保険適用外の治療は残ると考えられ、町の支援継続が望まれる。そこで以下について伺う。</p> <p>(1) 保険適用外の特定不妊治療について、引き続き支援する考えは。</p> <p>(2) 一般不妊治療における保険適用外治療へ、助成対象を拡充する考えは。</p> <p>2 コロナ禍において出産や子育ての情報を得にくい状況である。地域のつながりづくりや情報共有、産後ケア事業の拡充が望まれる。また足柄上病院等の産科が受け入れを停止し、通院のための時間や交通費の負担が増えている。そこで以下について伺う。</p> <p>(1) 妊婦検診費の補助額を増額する考えは。</p> <p>(2) 妊婦のタクシー利用の補助を行う考えは。</p> <p>(3) 子育てガイドブック「ENJOY 子育て OH!いいまち」を、母子手帳と同時に配布する考えは。また、内容の改定は。</p> <p>(4) エンジョイ！マタニティの参加促進のため、土日や休日等に開催する考えは。</p> <p>(5) ぞうさんクラブとランチサポートを、第二子以降の保護者も対象とする考えは。</p> <p>(6) 産後ケア事業に、宿泊型サービスや産後ドゥーラ等の家事サポート利用も含める考えは。</p>	

質問者	通告 8 番 3 番 重田 有紀 議員	通告時間 50 分
		答弁者 町長・教育長
質問事項	1 児童コミュニティクラブ（学童保育）の更なる充実に向けて 2 中学校の制服について	
要 旨	<p>1 今年の第一回定例会では、児童コミュニティクラブの土曜開所について、ニーズを把握するためのアンケート調査を実施する旨、答弁があった。児童コミュニティクラブは、働き世代にとって無くてはならない存在であることから、土曜開所に限らず、更なる制度の充実が求められている。そこで以下について伺う。</p> <p>(1) 土曜開所におけるアンケート調査実施について  (2) 利用料の減免の考え方について  (3) 障がいのある児童の入所について</p> <p>2 今年度より、中学校の制服に係る生徒心得が変更され、男子は学ラン、女子はセーラー服という記述はされていない。どの制服を選択するかは個人の自由となったものの、学校側はこの措置を暫定的なものであり、今後の展望については、令和 2 年度内に制服検討委員会を立ち上げ検討するとしていた。そこで以下について伺う。</p> <p>(1) 制服の意義について  (2) 制服検討委員会の設置状況について  (3) 性的マイノリティへの配慮について</p>	

質問者	通告 9 番 1 3 番 伊藤 奈穂子 議員	通告時間 5 0 分
		答弁者 町長・教育長
質問事項	配慮を必要とする子どもたちの支援について	
要 旨	<p>1 ヤングケアラーの支援について</p> <p>(1) 家族のケアや世話を担う 18 歳未満の子どもはヤングケアラーと呼ばれ、子ども本人が成長過程にあり、将来に向けた人間としての基礎を養うべき重要な時期に負担は大きいと考えるが本町の見解は。</p> <p>(2) 現状の実態把握と今後の取組みは。</p> <p>2 H S C (ハイリー・センシティブ・チャイルド)の支援について</p> <p>(1) 人一倍繊細な特性を持つ子どもは、ハイリー・センシティブ・チャイルド、略してH S Cと呼ばれる。5 人に一人は該当すると言われていているが本町の見解は。</p> <p>(2) 学校現場におけるH S Cの子どもに必要な支援は。</p> <p>(3) 今後、学習支援員等の配置に変更はあるか。</p> <p>3 幼児発達支援教室の更なる充実について</p> <p>幼児発達支援教室は、月に 5 ～ 6 回のペースで行っているが、現状と課題は。</p>	